

小海町 公民館報



町花・サラサドウダンツツジ



8月25・26日 松原諏方神社 御射山祭みさやまつりが開催されました。



もくじ

小海小6年生大洗体験学習	2ページ
アイラブ小海(189)	2ページ
羅針盤	2ページ
スケート陸上トレーニング講習会	3ページ
分館対抗ソフトボール大会	3ページ
松原諏方神社御射山祭開催	3ページ
町民ハイキング	3ページ
みんなの楽集館	4～5ページ
教育委員会だより	6～7ページ
町の広報	8～17ページ
やすらぎ園だより	18～19ページ
美術館ニュース	20ページ
小海の植物 染めごよみ	20ページ
フォトニュース	20ページ

平成30年9月1日現在

()内の数字は前回対比です

世帯数 2,021戸(±0)
人口 男性 2,331人(-9)
女性 2,404人(-1) 合計 4,735人(-10)

発行日 平成30年9月28日
発行者 小海町公民館
編集者 小海町公民館報編集部
長野県南佐久郡小海町豊里285番地
TEL 0267-92-4391

印刷所 臼田活版株式会社

第
506
号

大洗の大海原で夏を満喫!!

小海小学校六年生

大洗体験学習

八月六日、七日の日程で小海小学校六年生による茨城県大洗町への体験学習が行われました。

一日目は大洗名物、しらす丼に舌鼓をうち、ライフセーバーのリーダージコ船長の待つ、大洗海岸へ。ライフセービングの講習を受けました。個性豊かなライフセーバーの皆さんに触



発され、子ども達も元気いっぱい、四メートルもある砂山に登り、頂上から転がったり、海では大洗の激しい波と格闘し、あつという間にボディボードを乗りこなしました。終了後には認定証とお宝をいただきました。

二日目は大洗水族館に行き、巨大な水槽で悠々と泳ぐ魚をみたり、イルカショーでは思いっきり水しぶきを浴びて歓声をあげていました。



この二日間、子ども達は大洗ならではの貴重な体験ができたかと思えます。来年二月には大洗の子ども達が小海町にきて、交流し小海町ならではの冬の体験をします。

マイラブ小海私のおひまわり (189)



小海小学校 A-L-T

(外国語指導助手)

アダムス・シヨーン

昨年八月に小海町に来て一年が経ちました。本当に素晴らしい一年でした。私の出身地はフロリダ州

ジャクソンビルという所です。晴天の日が多く、暖かい気候ですが、山などの自然はあまり見られず、電車などの便利な交通手段もありません。なので、日本に初めて来た時はまるで違う惑星に来たような感覚でした。

豊かな自然に囲まれた小海町での生活はまるで夢のようです。空は澄んでいて空は青く、特に毎朝起きた時に窓から見える朝日が

反射し山々が輝いている景色はまるで美しい写真を見ているかのように綺麗で、とても癒やされます。フロリダにも季節はありますが、日本ほど季節毎の気温の変化はありません。紅葉も日本に来るまでは見たことがありませんでした。季節が変わるにつれて、自然の色が緑から黄色、黄色から赤に変化していくその光景は本当に美しいです。また、人生で初めて雪をここ小海町で見た時の衝撃は今でも忘れられません。そして、町の人々は温かく、とても

優しいです。小海町に住み始めて今まで、沢山の方々に助けていただきました。一度食堂にメガネを忘れてしまい、食堂の方がそのメガネを学校まで届けてくれた時、その優しさに感動しました。この場を借りてお礼を言わせて下さい。皆さんいつも優しく接してくれて、沢山助けてくれて、ありがとうございます。

仕事についてですが、前任のジェシー先生のサポートも有り、小海小学校でも楽しく働いています。学校の先生方は皆献身的に

盤針羅

昭和天皇の逝去を受け、一九八九年一月八日から始まった「平成時代」。三十年余りも続いた平成も、来年四月三十日の天皇陛下の退位によって幕を閉じようとしている。

振り返ればこの三十年間、多くの出来事があった。パブル経済の崩壊やリーマン・ショック、日本では今まで経験した事がないであろう、凶悪な連続テロ事件。そして何より、日本各地で起る大規模な自然災害。

今月には最大震度七を観測した北海道胆振東部地震が起り、多くの人的被害、住家被害が発生してしまつた。そんな中、辛い思いをした方々に、常に寄り添い励ました天皇、皇后両陛下。来年五月一日には新元号が適用され新たな時代が始まつても、天皇、皇后両陛下下の三十年にも及ぶ献身的な御姿、平和への思いを忘れてはならない。地球に住む誰もが望む平和で心豊かに過ごせる時代。そんな新しい時代が訪れる事を切に願うばかりだ。

スケート陸上トレーニング講習会

STEP BY STEP

「一つひとつの積み重ねの先にゴールがある」

平昌オリンピック パシュート競技 金メダリスト 菊池彩花さん

九月九日(日)小海中学校グラウンドと体育館において南佐久スケート協会と佐久地区中学校体育連盟主催のスケート陸上トレーニング講習会が開催されました。

平昌オリンピック パシュート競技 金メダリスト 菊池彩花さんを講師に迎え、佐久地区の小中学生一三五名余りがシーズン到来を前に講習を受けました。



九月とはいえ暑い日差しの照りつける中、小学生と

第四十六回分館対抗ソフトボール大会

暑さに負けず熱戦繰り広げられる!!

八月二十六日(日)第四十六回分館対抗ソフトボール大会が小海町総合グラウンドで開催されました。

今年是十分館、一六〇人の選手の皆さんで盛大に行



われしました。各チームは二試合の変則リーグ戦で戦い、A、Bブロック上位二チームが決勝戦、三位決定戦に進みました。珍プレー、好プレーに会場が大いに沸き、ケガもなく白熱した試合となりました。試合結果は次の通りです。

- 優勝 第八分館
- 準優勝 第五分館
- 第三位 第二分館
- 第四位 第十分館

大会三連覇 第八分館



中学生に別れウォーミングアップをし、基礎体力作りから始まり、一時間ほど汗を流しました。その後体育館に移動し、講演会が行われ

ました。その中でも「あきらめない気持ちの原動力は夢があるから。今勝てなくても、将来はきつと勝てる。」と信じていること。「大きな目標をみてしまうとあせりが出てくる。目の前のことを一つ一つやっていくことが大切。STEP BY STEP。この言葉が支えになった。」とお話してくださったのが印象的でした。

その後は中学生を対象に実技指導として、コーナーベルトを使い、コーナーワークの指導などを受けました。夢を叶えた彩花さんだからこそその言葉の重み、そして夢を実現した人を身近に感じ励みになったかと思えます。



松原諏方神社 御射山祭が開催されました

松原諏方神社 御射山祭が今年も八月二十五、二十六日に一泊二日で開催されました。

このお祭りは、諏訪の神様が山で狩りを楽しむという考えから始まったお祭りという説もあります。まず萱とすすきの穂で仮宮を作り、作った仮宮に吹流しを持った子ども達が先導します。その後を御神幣(ごへい)を肩に宮司が続き、



子ども数が減り、開催が危ぶまれています。伝統行事として継続されることを望みます。

森林浴発祥の地 赤沢自然休養林へ

今年度の町民ハイキングは、異常気象の猛暑が続く七月二十二日(日)、大相撲名古屋場所ので初優勝した御嶽海の出身地、木曾郡上松町の赤沢自然休養林で行いました。

当然のように当日も真夏日であり、木陰の涼しさを求めハイキングコースへ足を踏み入れると束の間の涼しさを感じましたが、炎天

下よりは涼しいものの連日の猛暑は林間へも達している感じがしました。

そんな中、約4kmのコースを散策し参加者全員が打ち解け和気藹々とハイキングを楽しみ、心身ともにリフレッシュし清涼しい気分になりました。

その昔、木曾の主要産業である林業の木材運搬に使われた森林鉄道が復活され、溪流沿いを走る森林鉄道に乗り爽快さを満喫された方も居られました。



みんなの楽集館



夏休み子ども教室開催

生涯学習課では、長期休みの子どもの居場所作りとして今年も楽集館の開放時間を30分早めたり、夏休み子ども教室を開催しました。

★小海町図書館と食改さんコラボ 「絵本の中でてくる料理でクッキング教室」★

7月31日(火)

絵本「11ぴきのねことあほうどり」からコロッケ、「ピョピョおばあちゃんのうち」からフルーツ白玉団子、食改さんに郷土料理を教わりカリカリ梅のおにぎりを作りました。



★子ども地学教室 じろ倶楽部とコラボだよ★

8月3日(金)

小海小学校周辺大地の三大不思議を探り、川原で色々な石を集めて特徴を見つけました。川にもすこーしだけ入りました。



★パステル画教室★ 8月9日(木)

パステルを使って明るくやさしい色合いの画を描きました。色々な技法を教わり、低学年のお友達も1時間集中して描きました。すいか、くじら、ハートなど夏らしい作品に仕上がりました。



今月の図書館

新刊ピックアップ

■妻は他人 だから夫婦は面白い さわぐちけいすけ

「出会って8年、喧嘩ゼロ」の夫がSNSに投稿した夫婦円満の秘訣漫画。「こんなの当たり前じゃん」と思う方は手にとってみて！人間関係を滑らかにするヒントも見つかるかもしれません。



■皮膚ねじりダイエット 新居 理恵

皮膚をねじり皮膚とその下の筋膜のゆがみを正常に戻すダイエット。「医師監修、痛くない、いつでもどこでもどの年代も出来る」と言われたら試すしかありませんよね。どの動作も写真付きで分かりやすいです。



お知らせ

第46回小海町文化祭が開催されます

期間 10月30日から11月4日まで
場所 北牧楽集館 多目的ホール

11月3日(土・祝) ステージ発表・音楽祭

場所 北牧体育館

日頃、グループや個人の皆さんが丹精こめて制作された作品の展示や、コーラス、舞踊、演奏等練習された成果をぜひご覧下さい。

生涯学習月間あわせ開催されます。

10月27日(土) 小海町図書館祭

場所 小海町図書館

1日司書体験やワークショップを開催します。

11月4日(日) 郷土資料館歴史セミナー

場所 北牧楽集館

東京国立博物館の井出浩正研究員を迎え「縄文造形の美を楽しむ」と題した講演会を開催します。大勢の皆さんのご来場をお待ちしています。

～ママを育む～ ぼくさんじゅん 朴相俊先生 子育て伝授合同講演会開催

8月31日(金)、町の総合センターにおいて小海町青少年健全育成連絡協議会・4校PTA子育て委員会合同講演会が開催されました。



講師に佐久大学准教授で日本認知・行動療法学会認定行動療法士の朴相俊先生を迎え～ここを育む～と題し考える心、頑張れる心、優しい心についてお話いただきました。講演の中から子育て十か条を紹介します。

- 1、子どもが成長する分、親も成長しなければならない。
- 2、ちゃんと子どもと遊ぶ(分かち合う)時間を作る
- 3、(知能)褒めるより(努力)励ます(結果より過程を大事に)
- 4、素直に自己表現ができるように、場(チャンス)を与える
- 5、感情は受容するが、不適切な行動については指導する
- 6、失敗経験の大切さを教える(受け入れるように)
- 7、親の期待感(欲望)を抑え、子どもの成功体験を増やす
- 8、子どもが持つ力(良い所)に気づき、養い育てる
- 9、状況にあった適切なコミュニケーションをする(聴く・話す)
- 10、共感能力を育て上げる

朴先生は考えることの大切さについて熱心にお話され、会場も聞き入っていました。会では、今後もこの活動を通じて地域の皆さんと子育てについて取り組んでいきたいと考えています。

ホールに響く やさしいマリンバの音色 大森たつしマリンバコンサート開催

8月19日(日)大森たつしまリンバコンサートが音楽堂ヤルヴィイホールで開催されました。大森さんは山梨県北杜市を中心に活躍されているマリンバ奏者で、ばちを片手に2本づつ持ち、強弱をつけ演奏される様は本当に圧巻でした。やわらかい音、激しい音と多彩でお客様からは「暖かい音色に魂が振るえました。」等の感想をいただきました。初めてマリンバの演奏を聞いたという方が多い中で、マリンバから湧き上がる音の美しさ、ハンガリア舞曲、ツイゴイネルワイゼンなど激しい音色、本当にすばらしかったです。

10月は今年最後のコンサート、舘野泉さんのピアノリサイタルが開催されます。素晴らしい演奏を音楽堂でお聞き下さい。



10月・11月の生涯学習事業

○体育行事

- 第9回分館対抗カローリング大会
- 10月21日(日)
- 北牧体育館
- スケートセンターオープン
- 水上トレーニング
- 11月10日(土)
- 松原湖高原スケートセンター
- 第24回町長杯スケート大会
- 12月1日(土)
- 松原湖高原スケートセンター

○その他教室

- 木目込み人形教室
- 10月1日(月)
- 11月12日(月)
- 11月26日(月)
- おはなしの会
- 10月29日(月)
- 11月26日(月)
- 地学講座
- 10月2日(火)
- 手芸教室
- 10月18日(木)
- 11月15日(木)
- カローリング教室
- 10月16日(火)
- 10月18日(木)

○催事

- 図書館まつり
- 10月27日(土)
- 小海町図書館
- 第46回小海町文化祭
- 10月30日(火)
- 11月4日(日)
- 11月4日(日)
- 北牧楽集館
- 郷土資料館歴史セミナー
- 11月4日(日)
- 北牧楽集館

○移動図書

- 10月2日(火)・16日(火)
- 11月6日(火)・20日(火)

日本マスターズ陸上 二十年連続在籍表彰

堀内正美氏



今年6月、馬流高根町にお住まいの堀内正美さんが、日本マスターズ陸上20年連続在籍され表彰されました。

現在89才の堀内さんは、主に円盤投げ・ハンマー投げに出場され、東海大会や長野大会で大会記録を樹立するなど長年に渡り活躍をされ、このたびの表彰に輝きました。これからも生涯スポーツとして続けて頂きたいと思っております。



水曜日休館

- 松原湖観光案内所
- 電話 9312005
- 野鳥観察会 他
- 木の実木の葉でアート
- 鉛筆画ワークショップ
- 「ふるさとを描く」水彩
- 小海町工芸品・物産販売
- 10月6日(土)・11月25日(日)
- 小海町観光展

「ギャラリー創」からのお知らせ

教育委員会だより
教育こうみ

共育の広場

Vol.32
…9月号…

小海小学校 川遊びと防災訓練を行いました



8月28日、学校の裏を流れる相木川の清流で、全校児童が川遊びを行いました。当日はあいにく曇りがちの天候でしたが、子どもたちは、浮き輪や水鉄砲などを準備し、豊かな自然の中で思いっきり楽しいひとときを過ごすことができました。このような環境にあることを、改めてうれしく感じた一日でした。

8月31日には、地震を想定した避難訓練が行われました。まず、第一次避難場所であるグラウンドに避難し、地震によって南相木ダムが決壊した場合を想定して、さらに第二次避難場所である土村公園まで避難しました。1年生から6年生まで、非常に静かに整然と避難することができました。

どちらの活動にも、児童の安全確保のために、地域の学校応援ボランティアの皆さんにご協力いただきました。避難訓練では、事前に土村区の皆さんに、土村公園・遊歩道(避難路)の草刈りをしていただきました。常日頃より地域全体で児童の育成にご協力をいただいておりますこと、改めて感謝申し上げます。



小海中学校 「煙体験」を通し、防災の意識を高めました

9月1日の前日、8月31日の3時間目に、第2回防災訓練を実施しました。今回は、南部消防署の菊原副所長さんをはじめとする4名の消防署の方々にお越しいただき、指導・助言をいただきました。

今回の主なねらいは地震発生時の対応と煙体験をとおして、火災発生時に安全を確保しながら避難するための心得を学ぶことでした。支援室1を煙体験会場に設定し、消防署の方のご協力で実際に煙を発生させました。生徒たちは体育館に避難する途中で支援室1に4名ずつ入り、煙を吸い込まないようにハンカチで口を覆い、姿勢を低くして通過することを体験しました。生徒たちは真剣に取り組み、実際に火災が起きたときの状況を感じることができました。

その後、南部署の井出救急係長から「校内の避難は階段や窓ガラスに注意を払うこと」「校外では崩れそうなブロック塀や落下物等がありそうなところから離れて安全に非難すること」等、具体的なお話をいただきました。南部署の皆様のお陰で、本当に貴重な体験ができました。ありがとうございました。



- 初めて煙体験をやってみて、教室に入ってみると視界が悪く、とても呼吸がしづらいことが分かった。しかし姿勢を低くすることで煙の量が少なくなり、視野もある程度とれるようになることが分かった。(1年)
- 私にとって初めての煙体験でした。今日は訓練用の吸っても大丈夫なものだったので、あまり怖くありませんでしたが、実際に起きた時の煙は有毒で、すごく怖いです。ハンカチはこういう時のためにも、必ずいつでも持っているよう心掛けていきたいです。(2年)
- 煙があることで、いつもより避難がしにくくなるのが分かりました。できるだけ姿勢を低くするのも普段の避難訓練ではあまりやっていなかったもので、とても役立つ訓練だと思いました。いつ起こるかかわからないですが、火災や地震にはできるだけ備えておくことの良さを改めて感じました。(3年)

今! 小海高校 第49回八ヶ嶺祭開催! ありがとうございます

8月31日から9月3日まで第49回八ヶ嶺祭が開催されました。今年度のテーマは「FLASH~最高の一瞬を~」。生徒一人一人が輝くことができるような文化祭にしたいという願いが込められています。5月に係長会が本格的に発足してから、全校をあげて準備をしてきました。特に夏休み明けからは3年生の係長を中心に、遅くまで学校に残るなど一生懸命取り組みました。

今年度より校内祭で開催した合唱コンクールではPTA公開となっておりますが、例年になく多くの皆様にお越し頂き、生徒の合唱とともに味わうことができました。一般公開はあいにくの雨天で野外ステージを実施することはできませんでしたが、多くのお客様にご来校いただきました。入船亭扇好さんをお招きして開いた講演会では、地域の皆様にお越し頂き、扇好さんとの軽妙なやりとりで場を盛り上げて頂きました。生徒たちが生き生きとした表情で準備やステージ発表を行っている姿、一般公開でお客様としっかりと態度で接している様子から、生徒の成長した姿や普段見られない素晴らしい一面を垣間見ることができ、教員冥利に尽きる思いでした。このように成功裏にして文化祭を終えることができましたのは、日頃から当校を応援してくださっている地域の皆様や、一般公開にご来校いただいた皆様のおかげです。ありがとうございました。今後とも御支援御協力の程、よろしくお願いたします。



教育委員会情報 7月・8月

●教育委員会 (7月23日)

- ・就学援助費の支給について9件の認定を行いました。
- ・総合教育会議について協議しました。

●中学校組合教育委員会 (7月23日)

- ・就学援助費の支給について5件の認定を行いました。
- ・総合教育会議について協議しました。

●教育委員会 (8月23日)

- ・平成30年度全国学力学習状況調査の結果について、分析方法について確認しました。
- ・平成31年度使用教科用図書の採択について、佐久地区教科用図書採択研究協議会の選定結果を受けて、平成31年度使用する小学校教科用図書を採択しました。

●中学校組合教育委員会 (8月23日)

- ・平成30年度全国学力学習状況調査の結果について、分析方法について確認しました。
- ・平成31年度(31~32年度)使用教科用図書の採択について、佐久地区教科用図書採択研究協議会の選定結果を受けて、平成31年度から使用する中学校教科用図書(道徳)を採択しました。

熱い共育人

vol.30

小海中学校
3年2組担任
市川 治彦



今年度4月より小海中学校でお世話になっております。転任先は小海中学校であると知らされた時、小学校時代はスケートクラブに入っていたので、松原湖駅から徒歩で坂道を登りとても長い道のりに感じながら松原湖へ練習や大会で訪れたことを思い出しました。また、伯母の家が小海町にあり、幼少の頃からカブトムシの幼虫やキノコ採りなど遊びに来ていたので、自然豊かなこの地域にとっても親しみを感じています。

3学年担任として赴任し、4月5日の入学式の日には生徒の皆さんと初めて顔を合わせ、翌週の9日には、顔と名前もほとんど分からないまま奈良・京都への修学旅行に出発しました。そんな慌ただしく始まった小海中学校での生活も、夏休みを終え、今は清流祭に向けて合唱練習や体育祭の練習にも熱が入り、もう半年が終わろうとしています。

半年間子供たちにどんな成長の姿があったのだろうか。日々責任の重さを感じる3学年1年間だけの担任として卒業に向けて、また1・2年生とも授業等の活動を通して、力不足ではあるかもしれませんが、保護者の皆様、地域の皆様方に支えていただきながら、子供たちの健全な成長を願って、取り組んでいきたいと思っております。今後ともよろしくお願いいたします。

小海高校 ~夢に挑戦する学び~

8月23日、小海高等学校の土屋校長先生をお招きし、郡内の教育委員を対象とした教育委員会研修会を行いました。はじめに学校の様子について、学力を伸ばす取組み、手厚い進路指導、意欲を育む各種活動、生活指導を土台とした授業を大切にしている学校づくり、生徒を応援するための様々な取組み



について、お話をいただきました。高校再編関係については、県教育委員会では少子化に対応するために高校のあり方を進めており、全ての生徒が自らの夢を見つけ、夢に挑戦する学びの実現を目指しています。

平成30年度総合教育会議開催



総合教育会議が7月23日に行われました。教育行政を担う教育委員会と組合長(町長)、副組合長(北相木村長、南相木村長)と密接な連携の中で意思疎通を図り、よりよい教育行政の推進と発展を目指すため開催しています。学校施設の充実、学校給食費の軽減、将来の学校づくり、地域を担う人材づくり等について意見交換が行われました。

広報こうみ

第154号

<http://www.koumi-town.jp/>

E-mail koumi@koumi-town.jp



まちづくり座談会



七月二十八日及び八月十日にまちづくり座談会が開催されました。来年度に予定している第六次長期振興計画の策定に向けてのご意見や町政に対してのご意見ご提案を多くの町民の皆様からいただくことができました。今後も、地区懇談会や各種団体等の皆様のご意見を伺う機会を考えておりますので、その際には多くの町民の皆様にご参加いただけますようお願いいたします。

インターンシップ事業 発表会

by 明治大学

昨年度に引き続き、明治大学情報コミュニケーション学部による町の地方創生事業に対する提案を受け、施策にいかすため6月及び8月にインターンシップ事業を実施いたしました。

地方創生事業「憩うまちこうみ事業」に対する学生向けツアーや、町に多く点在している空き家リノベーション、SNSの利用促進について学生目線から提案されております。



今年度は秋に最終提案を町民の方々向けに行う予定です。多くの町民の皆様のご参加をお待ちしております。

『第35回小海町健康福祉まつり』 が開催されます!!

第35回目となります小海町健康福祉まつりが、10月28日(日)に小海町役場周辺にて開催されます。今回は時期も会場も例年と変更して、小海分院ふれあい秋祭りとの同時開催となります。多数のイベントや各団体のブースが出展され、お子さんからお年寄りまでの全世代の方が楽しめる企画を用意しております。また、昨年同様小海町社会福祉協議会の物産展も盛大に行われます。ご家族揃ってのお越しを心からお待ちしております。詳細につきましては、全戸配布されるチラシを御覧ください。



もくじ

まちづくり座談会	8
インターンシップ事業発表会	8
『第35回小海町健康福祉まつり』が開催されます	8
町税等納期のお知らせ	9
町政ご意見箱	9
戸籍の窓	9
小海町しゃくなげ会からのお知らせ	9
平成29年度一般会計歳入歳出決算	10~11
直売所花市が開催されました	12
小海町交通安全協会 フォトニュース	12
チャイルドシート購入費補助制度をご利用ください	12

小海町イベントインフォ	13
北八ヶ岳・小海 星と自然のフェスタ	13
長野県農業大学校「実践経営者コース」学生募集中	14
農業経営相談会(設備投資)開催のお知らせ	14
1億円分の「小海町プレミアム商品券」発行	15
地域おこし協力隊	15
くらしの情報	16
ふるさと納税者	16
ふるさと納税で「郵便局のみまもりサービス」	16
子育て支援だより	17
やすらぎ園だより	18~19



町税等納期のお知らせ <平成30年10月~12月の納期は下記のとおりです>

Table with 6 columns: 口座振替日, 町県民税, 固定資産税, 国民健康保険税, 介護保険料, 後期高齢者医療保険料. Rows show payment dates (10/26, 11/26, 12/26) and corresponding periods (3期, 4期, 5期, 6期).

町税等の口座振替をご利用の方は納付月の26日が振替日となります。

前日までに残高の確認をお願いいたします。

※26日が土・日・祝日の場合は翌平日に振替えます。

また、窓口納付の方につきましては、納期限が各納付月の月末となります。

窓口納付の方は、便利な口座振替納付のご利用をおすすめします。

納税が遅れますと督促状が送られ督促手数料が発生しますので、必ず納期限内に納税をお願いいたします。

町政ご意見箱 ご意見 8月分

Table with 2 columns: 産業建設課, 回答. Content includes a question about festival dates and a detailed answer regarding festival schedules and committee planning.

戸籍の窓

・お誕生 おめでとうございます。

二月 井出 匠悟 貴之 土村栄町
四月 井出 麗華 喜輝 芦谷
五月 井出 健太郎 裕太郎 芦谷

六月 坂巻 快土 秀高 宿渡
中島 夢捺 祐樹 土村南町

・ご結婚 おめでとうございます。

四月 奥谷 貴大 埼玉県
吉次 彩 千葉県

六月 細谷 知敬 芦谷
矢崎 貴臣 諏訪市
川嶋 和美 安曇野市

・ご逝去 お悼み申し上げます。

四月 山口やす子 95歳 本間下
小山 吟子 88歳 寺村清太郎
新井万亀子 88歳 川平

五月 新津 善市 87歳 親沢
油井百合子 83歳 卒道
小林 克洋 76歳 馬流清幸

六月 藤嶋 武人 79歳 松原
篠原 民子 78歳 本間上
小池 午重 88歳 八那池

小海町しゃくなげ会からのお知らせ

しゃくなげ会は、心の病を持つ方とその家族、会に賛同して下さる方からなる会で、昭和60年に発足しました。...

〈活動紹介〉

- 活動・月1回
○活動内容・お話、カラオケ、お好み焼き作り など...

〈お問い合わせ先〉
小海町役場保健師にご相談ください。
TEL: 九二二二五二五



平成29年度 一般会計歳入決算額41億8,556万円になりました

平成29年度の小海町一般会計及び各特別会計の決算状況は下記のとおりです。

一般会計では歳入決算額41億8,556万円、歳出決算額39億4,784万円、差引残額 2億3,772万円ですが、翌年度への繰越事業があり、その財源として173万円が繰越となりました。実質収支額は2億3,599万円となり、この実質収支額の1/2以上の額1億1,799万円を平成30年度で基金へ積立を予定しています。

平成29年度 各会計の決算状況

(単位：千円)

会計名	歳入決算額	歳出決算額	差引残額
一般会計	4,185,560	3,947,833	237,727
国民健康保険事業特別会計	696,208	642,809	53,399
介護保険事業特別会計	663,557	662,569	988
後期高齢者医療特別会計	72,877	72,849	28
合計	5,618,202	5,326,060	292,142

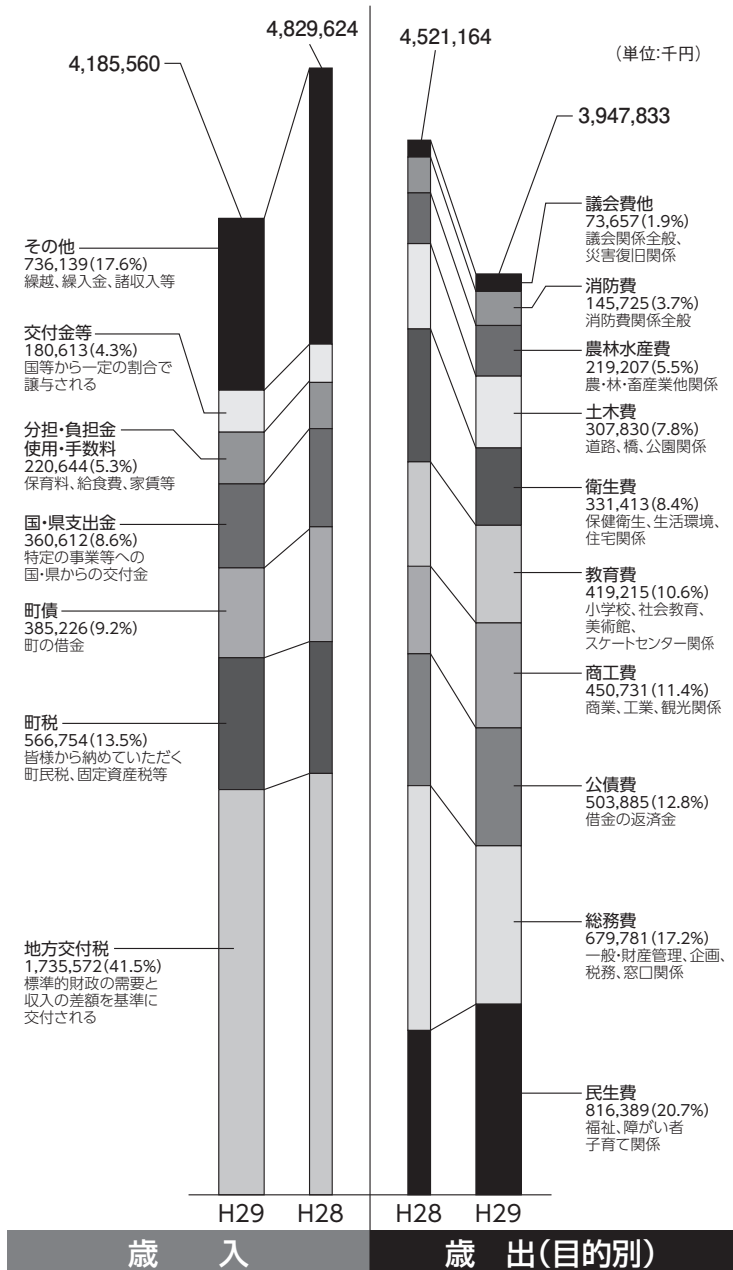
一般会計の歳入歳出決算状況

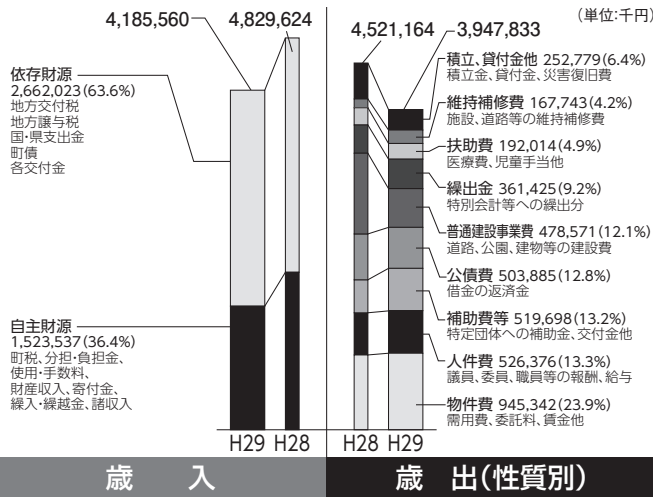
◎歳入

- ・合計で前年度対比 6億4,406万円の減となりました。
- ・地方交付税は、全体の41.5%を占めておりますが、前年度対比6,792万円の減となりました。
- ・国・県支出金は、国支出金において社会资本整備総合交付金事業等「道路改良及び橋梁修繕工事」により土木費補助金で大幅な減額となり、県支出金においては、農林水産費補助金等の増額により前年度対比1,660万円増となりました。要因は、耕作条件改善事業補助金等の増によるものです。
- ・その他では、本間大田団地宅地造成事業終了等による基金繰入 2億3,143万円の減、前年度からの繰越金 1億6,152万円減となっています。町債の借入額は、前年度対比 1億907万円の減となりました。

◎歳出

- ・合計で前年度対比 5億7,333万円の減となりました。
- 主な要因は、①本間大田団地宅地造成事業皆減 (△1億6,481万円)、②町営住宅「土村南町」建設事業皆減 (△1億6,503万円)、③総合センター耐震化事業皆減 (△6,922万円)、④基金積立金減 (△1億4,480万円)、⑤観光交流拠点施設整備事業 (9,442万円) となっています。





一般会計の性質別歳入歳出決算状況

◎歳入

- ・自主財源と依存財源別に表示しました。
- ・自主財源とは町が自主的に収入できる財源のことで、依存財源は国・県から定められた額が交付された財源等です。町の財政は36.4%対63.6%で依存財源に頼っている状況です。

◎歳出

- ・性質別に支出の大きい順に表示しました。
- ・物件費が一番大きく23.9%、人件費13.3%、補助費等13.2%、公債費12.8%となっています。

借金残高 貯金残高 年度別表

◎町債（借金）

表中の「臨時財政対策債」は地方交付税の代替財源であり、償還金は後年度の交付税のなかで100%補てんされるため、これを除いたグラフも参考に掲示しています。

全体では平成29年度末で43億7,513万円の町債残高があります。小海町の標準財政規模に対する割合は183.5%です。

◎基金（貯金）

財政調整基金など5つの基金の合計を表しています。

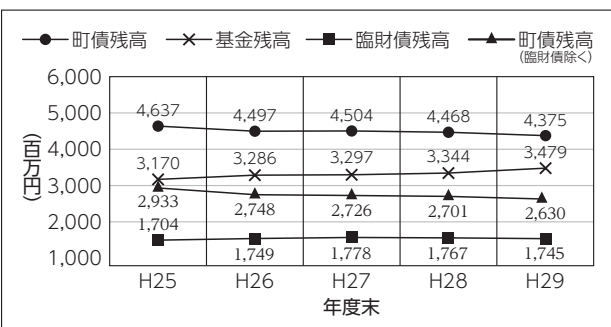
前年度から1億3,414万円増額し、平成29年度末で34億7,875万円の基金残高があります。小海町の標準財政規模に対する割合は145.9%です。

※標準財政規模：町税や地方交付税などの通常経常的収入（一般財源）と比較した各自治体の標準的な財政規模を示します。

◎考察

借金残高と貯金残高の差額は平成29年度末8億9,638万円で、借金残高が貯金残高を上回っています。しかし、借金残高は毎年減少傾向であり、基金残高は増加傾向となっています。

今後も引き続き、町民の皆様のニーズに対応しながら、健全財政に努めてまいります。



財政健全化法による指標

地方公共団体のすべての会計の収支の状況、借入金の償還負担額、将来負担しなければならぬ経費などを4つの指標で表し公表します。

当町では、実質赤字比率と連結実質赤字比率は黒字決算のため算定されません。

実質公債費比率は7.0%から6.9%へと0.1ポイント改善されました。

将来負担比率は-（マイナス）となっています。

一般会計が将来負担すべき借金の標準財政規模に対する比率で、将来支払っていく可能性のある負担等の現時点での残高を指標化し、将来財政を圧迫する可能性の度合いを示すものです。-（マイナス）表示は、借金等より充当できる基金残高等が多く、健全な財政運営を進めていることとなります。

(単位：%)

指標	内容	早期健全化基準 財政再生基準	判断基準	小海町の比率		
				H27	H28	H29
実質公債費比率	町一般会計等で負担する公債費とこれに準ずる経費の大きさを示す指標で過去3カ年平均で算定	25.0	数値は低いほうがよい	7.7	7.0	6.9
		35.0				
将来負担比率	町が将来において負担しなければならない債務・負担の大きさを示す指標	350.0	数値は低いほうがよい	-	-	-
実質赤字比率	普通会計の実質赤字の程度を示す赤字でない場合は算定されない	15.0	数値は低いほうがよい	-	-	-
		20.0				
連結実質赤字比率	町の全会計を合算し実質赤字の程度を示す赤字でない場合は算定されない	20.0	数値は低いほうがよい	-	-	-
		30.0				

●早期健全化基準（財政健全化団体）

- ・上記の一つでも早期健全化基準以上となった場合はその年度内に下記が義務化されます。
- 外部監査の実施→財政健全化計画の作成→議会の議決→住民へ公表→県へ報告

●財政再生基準（財政再生団体）

- ・上記のいずれかか財政再生基準以上となった場合はその年度内に下記が義務化されます。
- 外部監査の実施→財政再生計画の作成→議会の議決→住民へ公表→総務大臣へ報告

町長交際費の内訳

	件数	金額
総会等祝儀	19件	216,500円
慶弔費	13件	104,300円
お土産	8件	151,852円
合計	40件	472,652円

直売所花市が開催されました

8月12日(日)、小海町農産物加工直売所（プチマルシェこうみ）において花市が開催されました。色とりどりのお盆用の花や並び切らないほどの夏野菜、直売所名物の手作り饅頭が販売されました。天気にも恵まれ、500人を超えるお客様にご来店いただき、直売所前には行列ができていました。「今年の花は特に色鮮やかで綺麗」と好評で、野菜やお饅頭、カフェでのランチとともにたくさんの方にお買い求めいただき、大盛況の一日となりました。誠にありがとうございました。お饅頭は平日にもお買い求めいただけるようになりました。リニューアル以降、直売所の雰囲気は以前と大きく変わっています。皆さんもぜひ一度お出かけください。ご来店をお待ちしております。



小海町交通安全協会 フォトニュース

小海町交通安全協会では、夏の交通安全やまびこ運動に合わせ、7月23日(月)の朝7時30分に農産物加工直売所・郵便局前において、人波作戦を行いました。

早朝の活動でしたが、交通安全協会、小海交番、佐久警察署、佐久地域振興局から総勢25名が集まりました。

また、7月29日(日)、30日(月)にはふるさと祭りぎおん祭、8月16日(木)には松原湖灯籠流し花火大会での交通誘導及び駐車場整理を行いました。両イベントとも混雑をしていましたが、皆様のご協力のおかげで事故無く無事に終えることが出来ました。



季節も変わり秋となり、あっという間に日が暮れ、暗くなります。ドライバーの皆様は早めのライト点灯を、歩行者の皆様は反射材を携帯するなどして、事故の当事者とならず、楽しい秋の行楽シーズンを過ごしましょう。

チャイルドシート 購入費補助制度を ご利用ください



6歳未満の子どもはチャイルドシートの使用が義務づけられており、町では、チャイルドシートの購入費に対して補助しています。

補助金の内容は、1人に対して上限1万円（購入費が1万円未満の場合は、購入費実費負担分とし、千円未満は切捨てとします）。

対象は、保護者及び子どもが共に小海町に住所があり、満6歳未満の子どものいる保護者です。申請には、役場にありますが申請書と購入した際の領収書、チャイルドシートの保証書または取扱説明書の写しをご提出ください。

詳しくは、町民課生活環境係までお問い合わせください。

小海町イベントインフォ

小海町紅葉ウォーク参加者募集

平成30年10月13(土)に小海町紅葉ウォークを開催します。今年は「北八ヶ岳小海・星と自然のフェスタ2018」と同時開催し、小海リエックスをスタート・ゴールとして行います。松原湖高原の秋の美しい紅葉のなか、林道を通りレストハウスふるさとまでウォークし、佐久平の景色を眺める「天空体感コース」12kmです。参加費は大人1,000円、中学生以下は無料です。星フェスに合わせ、お祭り広場も開催し、多数の出店と振る舞いそばがあります。当日受付参加も可能です。土曜日ですが、昼と夜も楽しめるイベントを用意しました。

町民の皆さまのご参加をお待ちしています。

2018OSJトレイルランニングレース シリーズ第11戦 OSJ KOUMI100開催のお知らせ



2017表彰（女性の部）の様子

平成30年10月6日(土)～8日(月)に2018OSJトレイルランニングレースKOUMI100を開催します。スタート・ゴールを松原湖高原スケートセンターに設置し、松原湖高原から稲子湯、八ヶ岳中腹の標高2,100mまで駆け上がります。1周32kmを5周（約160km）する過酷な周回レースとなっていますが、完走を目差す参加者約400名が全国各地から小海町に集います。

秋の小海町の景色の中、観光協会と商工会青年部の手厚いおもてなしが好評で、年々参加者が増えています。松原湖高原で大勢の町民の皆さんの応援をお願い致します。

「第30回氷上トライアスロン小海大会・記念大会」参加者・スタッフ大募集

平成31年2月3日(日)、小海リエックス・松原湖スケートセンターを主会場に第30回氷上トライアスロン小海大会を30回記念大会として開催します。記念大会にふさわしい催しも企画中です。



【参加者募集】	競技種目	スラロームスキー	3km
		ランニング	16km
		スケート	10km (400M×25周)

※一般部門 同一選手が3種目競技を連続して行なう。

※リレー部門 (2名又は3名で競技を行なう)

【スタッフ募集】 本大会のお手伝いをして頂けるボランティアを募集します。

【申込み・お問合せ】 氷上トライアスロン小海大会事務局 (小海町役場産業建設課 0267-92-2525)

きたやつがたけ こうみ
北ハケ岳・小海

星と自然のフェスタ

小海町の星と自然を学び、楽しみ、そして癒される3日間になりますように

2018 10/12(金) ▶ 14(日)

2018年10月12日 15:00~14日 12:00

小海リエックスホテル特設会場にて
入場無料 (一部、有料の講習会があります)

主催：こうみ星フェス実行委員会 後援：小海リエックスホテル、小海町、小海町観光協会、小海町教育委員会

出店者募集！ 「スワップ&ミート (フリーマーケット) コーナー」

基本的に業社様はご参加いただけません。あくまで個人の範疇で行ってもらい、発生しましたトラブル等の責任は主催者側では一切負いかねますのでご了承ください。

お問い合わせ先：小海町観光課 92-2525

長野県農業大学校 信州農業に決める。[実践経営者コース] 学生募集中

長野県農業大学校では、卒業後すぐに稼げる農業経営者を育成する「実践経営者コース」の学生を募集します。「どのような品目で、どのような農業経営をやりたい」という目標が明確で、就農意欲が高い、方を募集します。

1 募集人員及び 修業年限等

学 科	募集人員	修学年数	受験資格	入学試験
総合農学科 実践経営者コース	10人	2年	高卒等以上	筆記試験：小論文 人物考査 (面接)

2 出願期間、 入試日時、場所



回	願書受付期間	試験日
第1回	平成30年11月1日(木)~平成30年11月21日(水)	平成30年12月10日(月)
第2回	平成30年12月11日(火)~平成31年1月4日(金)	平成31年1月23日(水)
第3回	平成31年1月30日(水)~平成31年2月19日(火)	平成31年2月28日(木)

3 学 費 授業料：年額 118,800円

諸経費：教材、寮費、実習費等として1年次61万円程度、2年次51万円程度 (平成30年度)

4 問い合わせ先 長野県農業大学校農学部事務局 〒381-1211 長野市松代町大室3700

TEL：026-278-5211 FAX：026-261-2121 E-mail：nogyodai@pref.nagano.lg.jp

農業経営相談会 (設備投資) 開催のお知らせ

新たな設備投資を数年以内に検討している、経営改善意欲のある農業者の方を対象に、農業経営相談会を開催します。

日時・場所 第1回 平成30年11月6日(火) 9:30~ 佐久合同庁舎 402会議室 (佐久市跡部65-1)

第2回 平成30年11月9日(金) 9:30~ 小海町役場 2階小会議室

※後日、相談の時間帯をご連絡します。

内 容 (1) 新たな設備投資にあたっての制度資金の活用 (2) 法人化について (3) 各種事業について

定 員 5~6名まで (事前申込制による個別相談)

申込締切 10月26日(金)まで

問合せ先 佐久農業改良普及センター ☎：0267-63-3146



1億円分の「小海町プレミアム商品券」発行 (10%のプレミアム付)

小海町と小海町商工会及びこうみP-ねっと協同組合では、今年も「小海町プレミアム商品券を発行することになりました。発行総額は、1億円(10%のプレミアム付 10,000円で11,000円分の商品券になります)です。

近年の景気低迷対策及び地域経済の活性化を図るために発行いたします。

商品券は、小海町内登録店で使えます。

発行にあつては、使用期限を付けさせていただきます。

なお、販売開始、購入条件につきましてをご確認ください。



- 使用期限** 平成30年10月14日(日)～平成31年3月31日(日)
- 販売開始**
 - 特別販売所 10月14日(日) 小海町役場 1Fロビー
販売時間午前9時～昼12時
 - 通常販売所 10月15日(月)～26日(金) 小海町商工会
(20、21日は販売休止、完売しだい終了します)
販売時間午前9時～午後4時
- 購入上限**
 - お一人様 1セット10,000円(10セットまで購入可)
100,000円で110,000円のお買い物が出来ます。
 - 購入に来られた方が、家族分をお買い求めいただけます。但し、1世帯全体での購入数は50セットとさせていただきます。

商品券に関するお問い合わせは 小海町商工会 TEL 92-2397



パワフル植物にあやかりたい

小海での協力隊としての活動も7月で3年目となりました、平田晋也です。

最近では森林組合での仕事の他、起業に向けてブッシュクラフトというアウトドア技術の研鑽、自然から得られる恵みを活かしたモノづくりのイベントができるよう製作をしています。

虫対策のスプレーや野草から軟膏クリームを作る、という方法は今年から始めたもので、皆様にも馴染み深いオオバコやヨモギ、そしてドクダミを使用しています。町内に何気なく生えている植物を活かしたモノづくりを体験会として継続してく予定です。

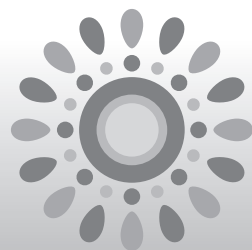
驚いたのは畑によく生える『ごんべえ(スベリヒユ)』という野草で、ただの雑草くらいにしか捉えていませんでしたが、実は栄養も効能もたっぷりなスーパー野草だったのです。

これからも利用法を色々なやり方で研究していこうと思います。



今年も小海町大使の
遠藤章雄様から
50万円のご寄付を頂きました。

くらしの情報



小海町インフォメーション

司法書士による「法の日の相談会」開催のお知らせ

長野県司法書士会による「法の日の相談会」を開催します。

日時 平成三十年十月十三日(土) 午後一時三十分から午後四時三十分まで
場所 北牧楽集館(小海町)

一階会議室
相談は無料です。秘密は厳守します。

お問い合わせ 〇二六七―九二―三〇一― 黒澤まで

現在、各種の相続手続では、お亡くなりになられた方の戸除籍謄本等の束を、相続手続を取り扱う各種窓口へ何度も出し直す必要があります。

「法定相続情報証明制度」は登記所(法務局)に戸除籍謄本等の束を提出し、併せて相続関係を一覧図に表した書面(法定相続情報一覧図)を出していただければ、登記官がその一覧図に認証文を付した写しを無

料で交付します。その後の相続手続は、法定相続情報一覧図の写しを利用いただくことで、戸除籍謄本等の束を何度も出し直す必要がなくなります。

是非、ご利用ください。詳しくは、法務局ホームページ又は長野地方方法務局へお問い合わせください。

【お問い合わせ先】長野地方方法務局(電話 〇二六―二三五―六六一―)

長野技術専門校 平成三十一年度 入校生募集のお知らせ

長野県長野技術専門校では、平成三十一年度入校生を募集します。

一・訓練期間 一年間(平成三十一年四月入校、翌年三月修了)

二・募集科 機会加工科、電気工事科、画像処理印刷科、木造建築科

三・応募資格 高等学校卒業(または同等)以上の方

四・必要経費 入校審査料(受験料)二二〇〇円、入校料(入学金)五、六五〇円、授業料(年額)十二万八八〇

〇円、教材費、作業服代、資格取得等の経費等は自己負担で、年間十数万円程度

五・一般入校選考 願書受付期間 平成三十年十一月五日(月)～十一月二十一日(水)

選考日 平成三十年十二月三日(月)
六・願書等提出先 長野技術専門校または最寄りの公共職業安定所(ハローワーク)へ

七・選考試験の内容、その他の問い合わせ、資料請求先

長野技術専門校 〒三八八―八〇―一 長野市篠ノ井布施五三三七 TEL:〇二六―二九二―二三四― FAX:〇二六―二九二―二三四―

または、最寄りの公共職業安定所(ハローワーク)で

ご相談ください。ホームページでも募集内容を掲載しており、関連資料のダウンロードができます。

ご寄附をありがとうございました ふるさと納税者(四月から六月分)

篠原 忠利	一万円	山中 信博	五万円
小山満之助	十万円	山中 幸子	三万円
鷹野 光吉	三万円	古田 幸弘	四万円
清水 義雄	五万円	辻森 大輔	一万円
新津 幸弥	五万円	赤木 正幸	一万円
植村 直樹	一万円	田中 佐	一万円
平野 征	二万円	黒澤 潔	二万円
油井 武彦	二万円	小川 義明	一万円
新津 真行	五万円	黒澤 雅志	三万円
鬼久保洋治	四万円	佐藤 実加	一万円
岩崎 昌夫	一万円	近藤 剛	一万円
西脇 知子	一万円	新津真一郎	一万円
新津 勝士	二十万円	以上の皆様の他一二五名	の方々からの寄附をいただきました。
平野 美穂	三万円	きました。寄附金合計金額	は三百二十七万円となりました。
野尻 俊也	十二万円	ました。ありがとうございます。	
藤田 兼雄	三万円		
藤田 千佳	三万円		
三田 明	一万円		
早瀬 雅彦	一万円		

ふるさと納税で「郵便局のみまもりサービス」



「郵便局のみまもりサービス」を小海町ふるさと納税の返礼品とする協定を締結しました。「郵便局のみまもりサービス」は、ふるさと小海町で暮らす親御さんご自宅に郵便局社員等が毎月1回訪問し、生活状況を確認して、その結果をご家族へお知らせするサービスです。

子育て支援だより

夏休みの子どもたち



例年より暑さの厳しかった夏休み。家庭の代わりとして朝からお預かりしているので、学習時間を設け、生活リズムを整え、熱中症予防・事故防止に配慮して過ごしました。

また小学生の来館でいっぱいになるので、普段多く来館してくださる乳幼児親子のために開放日を設け、保健センターや児童館の一室でゆったりと過ごしていただきました。



児童館ワークショップ スライム作りと コイン落としゲーム

児童館ワークショップにて、スライムを作りました。材料を混ぜていくと固まっていく様子に大興奮でした。コイン落としゲームは単純なようで難しく、なかなかコツのいるゲームでした。



開放日に保健センターで楽しむ親子

10・11月の子育て支援教室

お問い合わせ
小海なかよし児童館 92-2580

子育て支援センター事業

- ★おもちゃランド
 - ・11月15日(木) 10時～ 「やきいも」
- ★パパ・ママ カンガルーひろば
 - ・10月18日(木) 10時～ 「冬物交換会」
 - ・11月5日(月) 10時～ 「アクティブにいこう・2」
 - ・11月29日(木) 10時～ 「お楽しみワークショップ・2
～ハーバリウム～」
- ★はぐくみサロン
 - ・11月22日(木) 10時～ 「ほめて育てるって？
～森田美智子先生」

児童館事業

- ★子ども教室
 - ・10月13日(土) 9時～ 「地域探検」
 - ・10月24日(水) 放課後～ 「ポートボール」

次世代育成事業

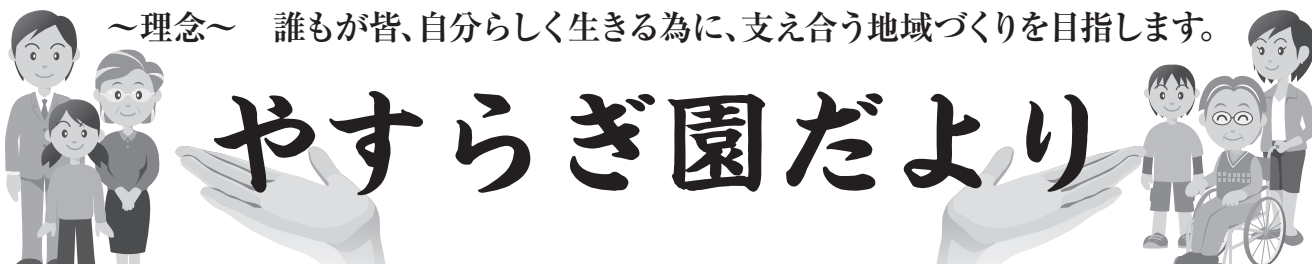
- ★元気な小海っ子
 - ・10月5日(金) 8時～ 「バスハイク(南信)」
 - ★子ども探検隊
 - ・10月20日(土) 10時～ 「ツリークライミング」
- ※詳細は後日配布のおたよりをご覧ください

結婚推進事業 ～婚活のすすめ～

- ◇白樺結婚相談 (小海町・佐久穂町・南相木村・北相木村)
 - ・10月21日(日) 13時～16時 北相木村公民館
 - ・11月18日(日) 13時～16時 小海町北牧楽集館

◇小海町結婚相談 ※ご本人でもご家族でも結構です。月～金曜日の8時30分～19時まで、小海なかよし児童館にて受け付けております。お気軽にご相談ください。

～理念～ 誰もが皆、自分らしく生きる為に、支え合う地域づくりを目指します。



やすらぎ園だより

No.164

〈編集・発行〉社会福祉法人 小海町社会福祉協議会 / 〒384-1103 長野県南佐久郡小海町大字豊里805番地 TEL. 92-4107(代) FAX. 92-2457

ボランティア支援検討委員会 開催

7月20日、やすらぎ園で検討委員会が開催されました。検討委員会では、「ボランティアの行方を考える」ことを目的に、高齢・障がい者分野の方々、町民課、民生委員、ボランティア活動グループ代表者、社協で構成された12名のメンバーで活発な意見交換が行われました。

年間3回を予定し、第1回目の今回は「顔合わせ」を兼ねてそれぞれの活動の現状を話してもらいました。

小海町
ボランティア連絡協議会
加入団体

あなたの^{チカラ}をみんなで作っています!

平成30年1月、北牧栄集館にて、「ボランティア講座」。

現在 17 団体、約 350 名の方が加入し活動しています。読み聞かせや紙芝居、子供達の見守りやサポート、傾聴や話し相手など多様な種類があります。
小海町ボランティア連絡協議会では、視察研修や講座を開催し、会員同士の情報提供や交流の場づくりを行っています。また、ボランティア保険の加入やさまざまな相談にもっております。

↑小海町ボランティア連絡協議会のチラシ
やすらぎ園にあります。

情報発信不足

- ★なり手のいないボランティア：仲間を集めたい！
- ★ボランティアの横のつながりが無い。知らない事がいっぱいある。
- ★ほとんどの人が仕事をしながらボランティアをしているので、活動しやすい環境づくりをしてほしい。
- ★ボランティアだから勝手にやっているというイメージで見られているが、きちんとルールを守って活動している。

ご家庭に眠っている食品はありませんか？

フードドライブ 開催

期日：10月28日（日） 小海町健康福祉まつりにて



フードドライブとは

ご家庭で余っている食品を持ち寄り、自立相談支援機関まいさぼ佐久（長野県・佐久市生活就労支援センター）を通じて食糧を必要としている方にお届けする活動です。

◆寄付していただきたい物◆

- ・缶詰
- ・レトルト食品
- ・インスタント食品
- ・カップ麺
- ・お菓子
- ・米
- ・調味料 など

◆次の条件を満たすようお願いいたします◆

- ・賞味期限が明記されている物
- ・未開封の物
- ・生鮮食品以外の物
- ・米は平成28年・29年産の精米、玄米

“やすらぎ園ギャラリー”にお越し下さい！

このたび、小海町文化財調査委員会が小海町の住民の方々に提供していただき保管している品々の中から、今から60年ほど前、昭和30年以前の戦前戦後の小海町の生活がうかがえる品8点

- ・すべ布団がわ
- ・行器（ほけえ）袋
- ・婚礼衣装
- ・男女児着物
- ・国民服 など



〔衣の展示〕をやすらぎ園ロビー横のギャラリーに展示しました。

特に目を引くのは、継ぎあて補修を重ねた“すべ布団がわ”、“行器（ほけえと呼ばれ冠婚葬祭の時、香典と共に持参する米を入れる袋）、などです。

懐かしい品物を見ながらその当時を思い出し、昔話に花が咲いて話題提供の場となっています。

是非一度見学にお越し下さい。





「リチャード・ホーア展」開催中!

美術館では、十一月四日まで「リチャード・ホーア展 小海・詩」を開催しています。

美術館では、八ヶ岳と御座山そして松原湖、森、木などを題材とし、四季、一日の時間、天候の変化による、光や空気そして特有の空間を表現した作品をご覧いただけます。二年間、車に画材を積み込み、町内各所で制作を重ねたため、会った方も多いことと思います。リチャード氏の視点は、我々に「自然を見ること、そして感じる」との素晴らしさと小海町の自然の美しさを再発見させてくれるでしょう。



オープニングで挨拶するリチャード氏（右）とピアノコンサートを行った福士恭子氏（左）

フォトニュース



小海の夏の風物詩 小海清流橋ビアガーデンが8月3日から10日まで開催されました。



「ファンタジック水彩画&クレイフラワーと布小物展」が8月11日から30日まで松原のギャラリー創で開催されました。



染色は赤根を一晩水に浸して柔らかくしてから、新しい水に酢酸を少量入れて熱煎して染液を取り出す。生地は先媒染し、染液に浸染後も後媒染をすると濃い茜色が得られる。

小海の植物 染めごよみ (52)

文・写真／四反田 有弘
「草木染の会」主宰 森林インストラクター

根 アカネ 茜草 茜草 赤
英名：マダー あかね

科アカネ属 アジアの暖帯に広く分布する蔓性の多年草。日本では本州以南の山地や野原に多く見られる。葉は長い葉柄をもつ心臟形で四枚が輪生する、茎は四角で細かい棘がある。根はひげ根で黄赤色をしている。古代から根を染色に用いてきた、最も古い赤色染料である。アカネの名は根が赤いから赤根となつたが、草冠に西と書く字は西の空の色を染める草という意味から。奈良時代にはこの染料を使って真緋、緋を染めたとされ、これは貴人の色である。「あかねさす 昼は

物思ひ ぬばたまの 夜はすがらに 音のみし泣かゆ」中臣朝臣 あかねさすは万葉歌の枕詞として日、昼、照る、君、紫などの尊いとされる言葉の前に付けられた事からも理解できま

す。

現在私たちが染料として使うものは日本茜が入り難く、輸入品の印度茜や西洋茜であるが、これらから映し出す色は鮮やかという強い赤

になるので、朱がかつた本来の茜色を染めたいという願望がありました。以前から富士山麓の火山灰地にアカネが群生していると聞いていました。山中湖の知人を訪ねる機会があり、それではと勇躍して行き二日間頑張つて探しましたが、写真の如くの結果で五十年も収穫できませんでした。これではストール二〜三枚を染めるのが精一杯です。貴人の衣服を染めるには多量の染料を要した事を思うと、こうした格別な茜色を染めるとか、憧れの色を染めるには多大の労働力や手間が掛つたものと理解されます。

